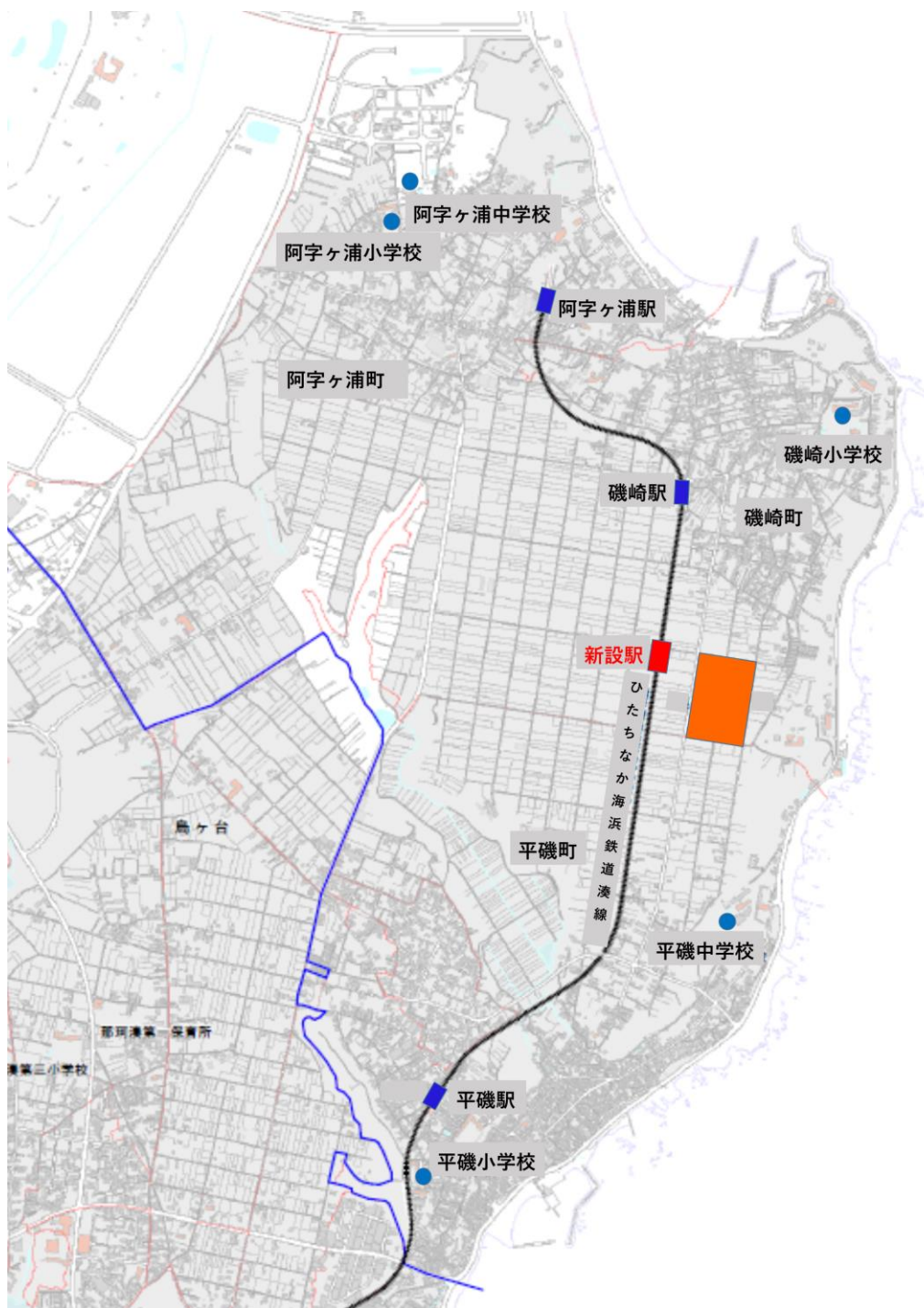


【統合校の建設地】

平磯・磯崎・阿字ヶ浦の3地区からの距離が、物理的にも心理的にもほぼ等距離であること、小中一貫統合校を建設するために必要な校地面積が、整形で平坦な土地において確保できること、ひたちなか海浜鉄道湊線に近接し、地域の幹線道路である市道湊1-7号線に面しているため、児童・生徒の安全安心な通学路が確保できることなどから、海拔25mの高台に位置する磯崎町地内の面積58,400㎡の現況畑地を統合校の建設地として選定しました。



——— 平磯・磯崎・阿字ヶ浦学区界